



富山赤十字病院 健診部



かがやき

第17号

令和元年度に当院の人間ドックで眼底検査をおこなった4039人のうち、精密検査の対象となった379人のなかで、眼疾患の第1位は視神経乳頭陥凹（緑内障疑い含む）で206人、第2位は網膜の病気の黄斑上膜・黄斑前膜が96人で、これらが精密検査の79%を占めています。一般の健康診断の中には眼底検査が含まれていないことが多いので、節目ふしめに眼底検査のある人間ドックのコースを受けられることをお勧めします。



人間ドック・健診施設機能評価
認定施設 認定第178号

眼底健診による緑内障早期発見の重要性

眼科 武島 知志



緑内障は我が国における**中途失明原因の第1位**を占め、社会的損失が著しい疾患であり続けています。緑内障では眼圧によって網膜の神経が障害されて死滅してしまいます。しばらくの間は視力も正常ですが、自分では気づかない内に徐々に見える範囲（視野）が狭くなり、末期に至るとついに視力も下がって見えなくなってしまいます。このように失明しないためには、眼圧から網膜の神経を生涯に渡って出来る限り保護し視野を守ることが大切となります。まずは眼圧を下げる**点眼**による治療を行いますが、眼圧の下降が不十分であれば手術によってさらに眼圧を下げる治療が必要になる場合があります。この**眼圧下降治療**こそが現在**唯一確実なエビデンスのある（科学的根拠のある）治療**です。眼圧以外の緑内障進行因子に対する新たな治療法として血流改善治療や神経保護治療が試みられており将来的に革新的な治療法となる可能性はありますが現段階においては信頼性の高いエビデンスはないのが現状です。*

現在の医学では一度死滅してしまった神経細胞を回復させる治療はありません。いったん失われた視野や視力が元に戻ることはない**不可逆的な病気**です。眼圧を下げることにより視野障害の進行を可能な限り遅くし生涯失明しないように、そして**視覚の質（Quality of vision: QOV）と生活の質（Quality of life: QOL）を保つことが治療目標**となります。それゆえに緑内障を放置せず、できる限り**早期に発見し、早期に治療**を行うことが重要です。私たち眼科医による治療よりもむしろ、早期に発見できたという時間的なアドバンテージが何よりも功を奏することが少なくありません。

緑内障を早期に発見するためには眼底写真撮影を含めた健診を受けることを強くお勧めします。緑内障は末期に至るまでは「**自分では気づかない内に進行し**」、「**自覚症状が乏しい**」という性格を持つためです。眼底写真の撮影により、神経障害の変化を捉えることができ緑内障を発見することが可能となります。また緑内障は**40歳以上の日本人における有病率が5.0%**（多治見スタディ）、およそ**20人にひとり**、と大変頻度が高い疾患であるという点にも注意しなくてはなりません。**国内の推定患者数は465万人**にも上り、**決して他人事ではなく、珍しい病気でもありません。**当院の健康診断・人間ドックでも眼底写真撮影を行っていますのでどうぞご検討いただければと思います。

※緑内障診療ガイドライン第4版

眼科ではどんな検査をするの？

視能訓練士 鍋谷 睦美

様々な検査を行いますが、その中から緑内障に関する検査をいくつか紹介します。

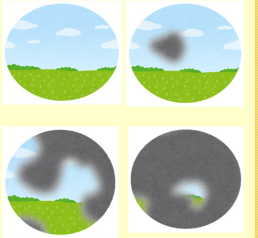
眼底検査

目の奥に光をあて、網膜や視神経の状態をレンズを通して観察します。緑内障では視神経乳頭の陥凹（くぼみ）の形が正常に比べて変形し大きくなります。通常、瞳孔を広げる散瞳薬を点眼して行います。



OCT検査（網膜断層検査）

網膜のCT検査のようなものです。機械台に顎を乗せ目の奥に弱い赤外線当てて、網膜の断層像を撮影する、**負担の少ない検査**です。**極初期の緑内障の発見**ができ経過観察に役立ちます。



視野検査

視野というのは、「目を動かさずに見える範囲」を指します。検査はいろいろな明るさの小さな光が見えたらボタンを押すもので、視野の範囲や欠損部を調べます。緑内障の視野異常は自覚することが難しく知らないうちに進行するため、**定期的**に視野検査を行うことが大切です。

健診でおこなう眼科検査について

看護師 佐藤 真由美

当健診センターでは、**視力検査、眼圧検査、眼底検査**を行っています。

視力検査

裸眼もしくはメガネやコンタクトレンズをつけて、**5m離れた距離**のものをどれだけ正確に見る力があるかを調べます。



眼圧検査

眼球に空気を吹きつけ、その反射から眼球の圧力（眼圧）を測定します。緑内障などを発見するスクリーニング検査です。

眼底検査

眼底カメラで目の奥の網膜を撮影します。眼底の血管は全身の血管の健康状態を反映するため、**高血圧や動脈硬化**などを見つける手がかかりとなります。また、糖尿病の合併症である**網膜症**などの目の病気も発見できます。眼科で瞳孔を広げる散瞳薬を用いる検査とは異なり、**健診では無散瞳で眼底検査**を行います。

★**血縁者に緑内障の方がいる方・糖尿病や高血圧、偏頭痛のある方・近視の強い方・眼精疲労など気になる方は、検査をお勧めします。**健診後に精密検査が必要とされた場合には必ず、眼科でさらに詳しく検査を受けてください。

☆掲載予告☆ 次号は骨密度について特集します。